



こちら、三中図書館 3月号号



市川市立第三中学校図書館図書館 2020. 2. 27.

3年生のみなさん、卒業の日が目前に
せまってきましたね。お別れは寂しい
けど、みなさんの晴れ姿を楽しみに
していますよ。



1・2年生のみなさん、先輩との最後の日々をしっかりと味わ
いながら過ごしましょうね。

2019年度三中図書館の 店じまいが近づいてきました。

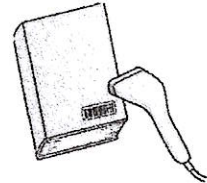
3年生：貸し出しはすでに終了しています。

卒業までにすべての本を返却してください。

1・2年生：貸し出し最終日を2月27日（木）とします。

3月19日（木）までに

すべての本を返却してください。



不明本の検索にご協力を！

図書館だより臨時増刊号で不明本すべての書名をお知らせ
して検索を呼びかけましたが、今のところ2冊しか発見され
ていません。

あなたの手元にこれらの本はありませんか？もう一度、身
の回りを確かめてください。貸出手続きのミスの可能性もあ
りますから、あなたが借りている本がじつは不明本になっ
ているかもしれません。

一年間の読書生活をふいかえろう。

読書の振り返りというと「何冊読んだか」という数の話になりがちですが、質の問題にも目を
向けてみましょう。

あなたはこの一年間にどんな本と出会いましたか？心に残っている本はありますか？

よい本との出会いは、私たちの心に考える種を残してくれます。読み終わった後も、折にふれ
て「ああ、あの本が言っていたのはこの事だな。」と思ったり、「あの本に出てきたあの人物なら
どうするだろう？」と考えたりするのです。そして「このことについてもう少し知りたい」とか
「もう少し考えてみたい」とかの思いが、次の読書につながっていきます。そのように本と本が
チェーンのようにつながっていて響きあっているとき、読書ライフは絶好調と言えるのです。

おすすめの本

『星の王子さま』 サン・テグジュペリ／岩波書店

この本が書かれたのは1943年。以来長い間世界中で読まれている本です。三中のおすすめ
本リストにも毎年入っています。児童書として出版されたようですが、大人の心にも響く内容
で、私はむしろ中学生のみなさんこそが、一番ふさわしい読者なのではないかと思えます。

語り手のぼくは、飛行機が故障してサハラ砂漠にぽつんと一人遭難しかけています。誰もい
ないはずの砂漠で小さな声が「ね…ヒツジの絵をかいて！」と呼びかけてきます。飛行機を修理
する作業の手を止めて顔をあげた僕の目に映ったのは、小さな王子様でした。

王子さまは、なんと地球ではない別の星からやって来たと言うのです。

この日から数日の時間をかけてぼくは王子さまの事
を知っていきます。二人の会話は簡単にはかみあいません
が、王子様の語る話は読者の心にたくさんの考える
種をまきます。それも長い時間をかけて考え続けじっ
くり育てることになる種を。

へたウマな挿絵の魅力とともに古びることのない一冊です。

